



# 令和3年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和2年9月11日

上場会社名 株式会社 精養軒  
コード番号 9734 URL <https://www.seiyoken.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 裕  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 清田 祐司

TEL 03-3821-2181

四半期報告書提出予定日 令和2年9月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 令和3年1月期第2四半期の業績(令和2年2月1日～令和2年7月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年1月期第2四半期	388	77.9	616		587		615	
2年1月期第2四半期	1,758	2.2	70	17.1	79	15.0	62	12.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年1月期第2四半期	236.48	
2年1月期第2四半期	23.76	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年1月期第2四半期	5,914	2,752	46.5	1,058.35
2年1月期	6,865	3,511	51.1	1,350.14

(参考)自己資本 3年1月期第2四半期 2,752百万円 2年1月期 3,511百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年1月期		0.00		5.00	5.00
3年1月期		0.00			
3年1月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において令和3年1月期の配当予想については、中間配当金は無配、期末配当金は未定であります

## 3. 令和3年1月期の業績予想(令和2年2月1日～令和3年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年1月期2Q	2,628,000 株	2年1月期	2,628,000 株
期末自己株式数	3年1月期2Q	27,384 株	2年1月期	27,384 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年1月期2Q	2,600,616 株	2年1月期2Q	2,600,616 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

令和3年1月期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、現時点で適正かつ合理的な算定が困難なため、未定といたします。今後、業績予想が合理的に算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、急速に悪化し、リーマンショックを上回る深刻な事態となりました。

飲食業界におきましては、政府の緊急事態宣言に伴う長期にわたる休業、外出自粛、各種イベント中止、また、外食及び多人数による会食が制約を受けるなど、極めて厳しい経営環境となりました。

このような情勢下、当社におきましては、お客様と従業員の安心・安全の確保を最優先課題と位置づけ、マスク着用、消毒・手洗い・うがい・検温などの徹底、ソーシャルディスタンスの確保、店舗の時短営業など、可能な限りの感染防止対策を実施し、効率的な人員配置を中心とした業務の効率化、コスト削減に取り組んで参りました。

しかしながら、緊急事態宣言解除後も飲食業界を取り巻く環境は、好転することなく、特に当社店舗が集中する上野公園は、諸施設の入場制限や各種イベントの中止により、来園者数が大幅に減少し、加えて、多人数での宴会に対する警戒感が未だ払拭されないことなどから、当社の業績は、過去に類を見ない低迷が続いております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は388百万円（前年同期比77.9%減）となりました。営業損失は616百万円（前年同期は営業利益70百万円）、経常損失は587百万円（前年同期は経常利益79百万円）、四半期純損失は615百万円（前年同期は四半期純利益62百万円）となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が収束に転じるまで、当社を取り巻く経営環境は、厳しい状態が続くものと思われまます。

当社といたしましては、業界動向やアフターコロナを踏まえた生活スタイルの変化を注視しつつ、更なる業務の効率化、コスト削減、営業戦略の見直し、人材育成の強化などに全力で取り組み、全社一丸となって、この難局を乗り越えてまいる所存でございます。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ951百万円減少し5,914百万円となりました。流動資産は758百万円減少の4,205百万円、固定資産は193百万円減少の1,709百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が730百万円減少したことによるものです。

固定資産の減少の主な要因は、投資有価証券が178百万円減少したことによるものです。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末と比べ192百万円減少し、3,162百万円となりました。流動負債は147百万円減少の256百万円、固定負債は45百万円減少の2,906百万円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、買掛金が48百万円及び未払金が59百万円減少したことによるものです。

固定負債の減少の主な要因は、長期前受収益が36百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は前事業年度末と比べ759百万円減少し2,752百万円となりました。この減少の主な要因は、四半期純損失の計上等で利益剰余金が628百万円及びその他有価証券評価差額金が131百万円減少したことによるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大により、本年2月以降、国内外で大規模な行動自粛の措置がとられる中、企業及び消費活動は停滞し、国内経済は急速に悪化いたしました。

5月下旬には緊急事態宣言が全国で解除されましたが、未だ完全な新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期が見通せない中、現時点で合理的な業績予想の算定は困難であり、令和3年1月期通期業績の予想は引続き未定とさせていただきます。今後、合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年1月31日)	当第2四半期会計期間 (令和2年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,795,792	4,065,739
売掛金	93,799	23,342
たな卸資産	34,289	28,588
その他	39,380	87,781
貸倒引当金	△29	△315
流動資産合計	4,963,230	4,205,135
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	370,718	354,096
土地	603,188	609,188
その他(純額)	61,493	58,818
有形固定資産合計	1,035,399	1,022,102
無形固定資産		
投資その他の資産	2,023	2,023
投資有価証券	807,318	628,877
その他	56,692	55,806
投資その他の資産合計	864,010	684,682
固定資産合計	1,901,432	1,708,808
資産合計	6,864,662	5,913,943
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,714	15,792
未払金	107,069	48,222
未払費用	52,107	55,872
未払法人税等	14,976	861
前受収益	72,647	72,647
賞与引当金	30,600	26,600
その他	61,629	35,859
流動負債合計	402,743	255,853
固定負債		
退職給付引当金	507,281	514,386
役員退職慰労引当金	118,086	124,528
繰延税金負債	116,919	95,300
長期前受収益	2,201,683	2,165,359
その他	6,767	6,146
固定負債合計	2,950,735	2,905,720
負債合計	3,353,478	3,161,573

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年1月31日)	当第2四半期会計期間 (令和2年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	131,400	131,400
資本剰余金	4,330	4,330
利益剰余金	3,046,957	2,418,967
自己株式	△20,650	△20,650
株主資本合計	3,162,037	2,534,047
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	349,147	218,323
評価・換算差額等合計	349,147	218,323
純資産合計	3,511,184	2,752,370
負債純資産合計	6,864,662	5,913,943

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成31年2月1日 至令和元年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自令和2年2月1日 至令和2年7月31日)
売上高	1,758,402	388,231
売上原価	707,181	328,982
売上総利益	1,051,221	59,249
販売費及び一般管理費	981,417	674,880
営業利益又は営業損失(△)	69,804	△615,631
営業外収益		
受取利息	781	812
受取配当金	5,564	5,854
雇用調整助成金	-	23,044
雑収入	2,844	3,583
営業外収益合計	9,190	33,293
営業外費用		
減価償却費	-	5,071
営業外費用合計	-	5,071
経常利益又は経常損失(△)	78,993	△587,409
特別損失		
固定資産除却損	296	254
特別損失合計	296	254
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	78,697	△587,663
法人税、住民税及び事業税	19,577	505
法人税等調整額	△2,676	26,819
法人税等合計	16,901	27,324
四半期純利益又は四半期純損失(△)	61,796	△614,987

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響については、令和2年度中は完全に回復せず、令和3年度から徐々に改善し、令和4年度期首以降は例年並みの需要が見込まれると仮定し、繰延税金資産の回収可能性及び減損損失の認識の判定等の会計上の見積りを行っております。